

《共通科目》

授業科目名	看護管理論 <i>Nursing Administration</i>			担当教員	倉岡 有美子	
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30(2)	
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	変化し続ける社会の中で高度実践看護師として個人および組織を適切に機能させる管理能力を獲得するために、看護管理の基礎概念と主要な理論、管理プロセスに関する知識を得るとともに、現場における責務と役割についての認識を深め、実践場における看護管理の方法と活動を探究する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織運営に関する諸理論、看護マネジメントの諸理論、方法論について理解できる 2. 多職種との協働・連携に関する理論とその応用について理解できる 3. 医療安全、資源管理、看護の質保証の概念を理解し、看護の質向上の取り組みについて考察できる 4. 看護活動を取り巻く法律と制度について理解できる。 5. メディア・公衆とのコミュニケーション技法について理解し、応用できる。 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回 看護管理概論 看護管理とは、看護管理の基礎となる知識 2回 組織論① 科学的管理論、人間関係論、リーダーシップ論 3回 組織論② 変革理論 4回 組織論③ 学生によるプレゼンテーションと討議（「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」） 5回 組織論④ 学生によるプレゼンテーションと討議（組織論①②をふまえて） 6回 多職種との協働・連携 チーム医療における志向性、チーム医療の条件 7回 医療安全① 医療事故と安全対策の経緯、コンフリクト・マネジメント 8回 医療安全② 学生によるプレゼンテーションと討議（医療安全①をふまえて） 9回 看護活動を取り巻く法律と制度① 社会保障制度、医療法、保健師助産師看護師法、診療報酬・介護報酬 10回 看護活動を取り巻く法律と制度② 学生によるプレゼンテーションと討議（看護活動を取り巻く法律と制度①をふまえて） 11回 資源管理と看護の質保証① ヒト・モノ・コスト・情報の管理、経営管理、医療・看護の質と評価 12回 資源管理と看護の質保証② 学生によるプレゼンテーションと討議（資源管理と看護の質保証①をふまえて） 13回 メディア、公衆とのコミュニケーション① メディア・公衆とのコミュニケーション技法 14回 メディア、公衆とのコミュニケーション② 学生によるプレゼンテーションと討議（新聞記事に現れる「看護」、忘れられない看護エピソード、看護のアジェンダ） 15回 まとめ 日本の医療における看護管理の課題について検討する。 					
学習方法	院生主体の参加型授業を行う。教員による講義と院生によるプレゼンテーションを交互に行う。院生は分担して各回の理論や概説を自分の経験に引き寄せたプレゼンテーションをする。					
オフィスアワー	月曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントに応じます。 y-kuraoka@jrckicn.ac.jp					

テキスト	特に指定しない
参考文献	<p>Stephen P. Robbins.: <i>Essentials of Organizational Behavior</i> 8th ed. 2005, 高木晴夫訳：組織行動のマネジメント。東京，ダイヤモンド社，2009.</p> <p>Johm P. Kotter.: <i>On What Leaders Really Do</i>. 1999, 黒田由貴子訳：リーダーシップ論。東京，ダイヤモンド社，999.</p> <p>Hersey P.B. Blanchard H.K. and Johnson D.E. <i>Management of Organizational Behavior Utilizing Human Resources</i> (7th). 1996, 山本成二，山本あづさ訳：入門から応用へ行動科学の展開（新版）人的資源の活用。東京，生産性出版，2000.</p> <p>岩崎夏海：もし高校野球の女子マネジャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら。東京，ダイヤモンド社，2009.</p> <p>倉岡有美子：看護現場を変える0～8段階のプロセス。東京，医学書院，2018.</p> <p>細田満和子：「チーム医療」とはなにか。東京，日本看護協会出版会，2012.</p> <p>WHO：WHO <i>Patient Curriculum Guide: Multi-professional Edition</i>. 2011, 東京医科大学 医学教育学・医療安全管理学監訳：WHO 患者安全カリキュラムガイド多職種版。東京，東京医科大学，2011.</p> <p>相馬孝博：ねころんで読める WHO 患者安全カリキュラムガイド，大阪，メディカ出版，2013.</p> <p>井部俊子，中西睦子監修：看護管理学習テキスト第2版 2017年度刷①～⑧巻。東京，日本看護協会出版会，2017.</p>
評価方法	授業への参加度（10%） プレゼンテーション（40%） レポート（50%）